

第3回仙台市長杯仙台市ボッチャ大会 各区予選会

競技要領（ルール・試合の進め方）

競技規則

- (1) 全国障害者スポーツ大会のボッチャルールを準用するほか、この要領の定めるところにより実施します。

競技方法

- (1) コートの大きさは通常の半分の6m×3mのハーフコートを用い、スローイングボックスは2つに分けて使用。
- (2) 1チーム3名のチーム戦とし、試合ごとに各チームは選手3名を選出し対戦します。
- (3) 予選リーグの組み合わせは各組3～4チームによるリーグ戦を実施し、その後、各リーグ1位のチームによる決勝トーナメント（又は決勝リーグ戦）を行います。
- (4) 試合は2エンド（先攻後攻を交互に1回ずつ）を行い、2エンドの総得点で勝敗を決定。同点の場合は、予選リーグ、決勝トーナメント（又は決勝リーグ戦）ともに、タイブレイク（決戦投球）で勝敗を決定します。

※タイブレイク（ファイナルショット制度）について

- ・コート中央のクロスにジャックボールを配置し1球ずつ投球してジャックボールにより近いボールを投球したチームを勝者とします。
- ・タイブレイクの得点は総得点に含まれません。

- (5) 先攻後攻はコイントスで決定（先攻が赤ボール、後攻が青ボール）。ジャックボールの投球順序は、第1エンドは先攻（赤ボール）チーム、第2エンドは後攻（青ボール）チームが行います。
- (6) 投球は、自陣の中であればどこから投げてもOKです。投球順序も自由です。ただし、1エンド内でできる投球は一人2球。一人が3球などの投球はできません。
- (7) 各リーグの順位は、以下の順で決定する。
- ① 勝ち数が多いチーム
 - ② 同勝数の場合は直接対決で勝ったチーム
 - ③ ①②で決まらない場合は、得失点差の多いチーム
 - ④ ③で決まらない場合は、総得点の多いチーム
 - ⑤ ①～④で決定しない場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で決定する。
- (8) 相手チームが全ての投球を終え、自分のチームが有利な局面となった場合は、「投球をしない」こともできます。この場合は、審判に宣言し、残ったボールをボックス前に置いてください。

棄権について

- (1) 受付時間内に受付をしなかったチームは棄権とみなします。棄権となったチームの対戦相手は、不戦勝とし、3-0で勝利したものとします。
- (2) 試合開始時点で3名未満となった場合は、オープン参加扱いとなり、対戦相手が3-0で勝利したものとします。

(3) 試合開始後に3名未満となった場合も同様に、オープン参加扱いとなります。

ファール（違反行為）について

(1) 【一般の部】以下の行為をしたと審判が認めた場合、ファールとなり、投球したボールはリトラクション（ボール除去）となりますのでご注意ください。

- ・ラインを踏んで投球した場合
- ・選手が同時に投球した場合
- ・審判の指示がある前（自分の色のパドルが示される前）に投球した場合
- ・ランプを使用する選手のランプオペレーターが、試合中のコートを見た場合や試合に介入していると審判が判断した場合

なお、投球ボールが、有効ボール当たり盤面が変わってしまった場合は、①審判で協議し可能な限り現状復帰します。② ①が不可の場合はエンドをやり直します。

(2) 【小学生の部】違反行為があった場合は注意のみとし試合を継続します。ファールになりそうな場合、投球前に審判より声かけを行います。なるべくファールにならないようご注意ください。

競技時間について（持ち時間制）

(1) 円滑な大会運営のため、持ち時間制を採用し、各チーム1エンド3分間とします。ランプを使用する選手がいるチーム、視覚障害のある選手がいるチームは、5分間（状況により応相談）とします。各チームともご協力をお願いします。

(2) 試合中は、持ち時間内において、コート内に入りボールの状況を間近で確認することができます。コート内では、ボールに触れて動かしてしまわないよう注意してください。

選手・サポーター（介助者）について

(1) エントリーメンバーに変更が出る場合は、大会当日、受付にて変更届を提出してください。（他の参加チームや応援者などからメンバーを補充してもOKですが、一人の方が複数のチームに所属することはできません）。受付後は、人数やメンバーの変更は不可とします。

なお、3名未満となった場合は、オープン参加として扱います（決勝トーナメントへの進出や、表彰の対象にはなりません）。

(2) 試合中、同エンド内及びエンド間での選手交代は不可となりますが、試合ごとの交代は可とします。

(3) 介助やサポートが必要な場合は、一緒にコートに入ってサポートができます（小学生の部の場合、助言もOK）。※介助以外でサポートする場合は、ボックスの後ろで行ってください。エントリーメンバー以外の介助者やサポーターは「介助ビブス」の着用をお願いします。

(4) エントリーメンバーの中に、選手兼介助者がいる場合、「介助ビブス」の着用はしませんが、試合開始前に選手兼介助者である旨を審判に伝えてください。

用具について

(1) 大会で使用するボールは大会事務局で用意したものを使用します。（マイボールの使用は不可）

(2) ランプが必要なチームには貸出を行います。

練習時間について

- (1) 各予選会のコート開放は9:00～ガイダンス開始までの間、昼休憩時間に開放します。
- (2) 各試合前に2分間のウォーミングアップを設けます。ウォーミングアップは、2分間経過、または全てのボールの投球が終わった時点で終了となります。その時、ジャックボールはコート中央に置いて実施となります。また、両チームから希望がない場合は実施しません。

試合方法について

『一般の部』

4チームによる予選リーグ戦を行い、その後、各リーグの1位による決勝トーナメントを実施

『小学生の部』

4チームによる予選リーグ戦を行い、その後、各リーグ1位・2位による決勝トーナメントを実施

決勝大会進出条件

『一般の部』 ➡ 全24チームが3月2日決勝大会へ出場

- (1) 各区予選会の予選4リーグでそれぞれ1位になり、決勝トーナメントに進出した全20チーム
- (2) 各区予選会の予選4リーグでそれぞれ2位となったチーム（5区合わせて全20チーム）の中から、抽選で選ばれた3チーム
- (3) 昨年度の決勝大会優勝チーム（但し、優勝チームが辞退した場合、次位のチームが繰上参加対象となります。）

『小学生の部』 ➡ 全12チームが3月2日決勝大会へ出場

- (1) 各区予選会の予選リーグでそれぞれ1位になり、決勝トーナメントで1位、2位となった全10チーム
- (2) 各区予選会の予選リーグでそれぞれ1位になり、決勝トーナメントで3位となったチーム（5区合わせて全5チーム）の中から、抽選で選ばれた1チーム
- (3) 昨年度の決勝大会優勝チーム

※但し、決勝大会（市長杯）への出場権を辞退した場合は、順次繰り上げとなります。

※各区予選会へのエントリー状況により決勝大会への出場権が上記記載の限りではない場合があります。